

須藤 文四郎 (94) 八森 1
 鈴木 ミネ (90) 八森 3
 吉田 秀雄 (93) 中浜
 加賀谷 ミヨ (85) 横間
 小澤 光男 (80) 石川

おくやみ

須藤 修平 (岩館2)
 佐々木 舞 (弘前市)
 金田 透 (岩館2)
 加賀美 里 (秋田市)

ご結婚おめでとう

相場 柊汰 (中浜) しょうた
 【悠佑・なつみ 長男】

こんにちは赤ちゃん



山本 一堯 (91) 茂浦
 笠原 祥子 (83) 目名湯
 田村 庄太郎 (77) 石川
 銭谷 一男 (89) カチキ台
 神馬 美樹子 (46) 小手萩
 鈴木 静子 (66) 岩子
 嶋津 義徳 (77) 石川
 森田 良友 (81) 水沢



善意をありがとう (敬称略)

阿部 孜 (水沢) ちあき
 匿名 昌人 (八森1) ちあき
 須藤 昌人 (八森1) ちあき
 奥村 銑市 (水沢) ちあき
 亡父 潤作 (大沢) ちあき
 亡父 文四郎 (大沢) ちあき

「香典返しにかえて」

人の動き (11月30日現在)

人口 7,037人 (9人減)
 ●男 3,311人 (6人減)
 ●女 3,726人 (3人減)

異動内訳
 ●出生 1人
 ●死亡 18人
 ●転入 19人
 ●転出 11人

世帯数 3,065世帯 (増減なし)

() の数字は前月との比較。
 この数字は住民基本台帳に
 基づいています。
 (外国人を含む)

佐々木 直幹 (八森2) ちあき
 笠原 宏陽 (目名湯) ちあき
 亡妻 祥子
 吉田 リヨ (中浜) ちあき
 亡夫 秀雄
 神馬 進悦 (小手萩) ちあき
 亡長女 美樹子

厚くお礼申し上げます。に、故人のご冥福をお祈りいたします。

家の困りごと、な~んでも
ごとうせん さ聞いてみれ~
 090-5843-1835
 後藤德行建築設計事務所 峰浜畑谷

入札結果をお知らせします!!

町で行った入札において、予定価格が130万円以上のものについて、お知らせします。

■ 11月8日 入札分
 ○定住促進用空き家改修工事 (カッチキ台)
 契約金額 3,961,100円 (落札率90.81%)
 請負業者 門脇建築工業

しらかみ整骨院
 〒018-2621 秋田県山本郡八峰町八森字茶の沢141-7
 TEL・FAX 0185-74-5678
 首、肩、腰、膝などの痛み、産後の骨盤矯正、児童の側弯症、他、あなたの気になるその痛み何でもお気軽にご相談下さい。歩けない方、車の無い方、出張承ります。

スマホから デジカメから フィルムから 写真から できます!

フジカラーの 写真年賀状 2020

1階バリアフリースタジオ完備 予約お問い合わせは 個人写真・集合写真 ☎ 76-2960
 同年会・百日記念・七五三・ご結婚写真・年祝い記念

藤田写真館
 八峰町峰浜高野字真山1-2 国道101号沿い

CSレター
 コミュニティ・スクールからこんにちは

CSディレクターの工藤です。もし今年ハタハタが豊漁だったら、夏の「八森っ子元気みこし」でファガス前で八森小全校児童がハタハタ音頭を踊ってアピールしたおかげかも…。

11月9日(土)、八峰町PTA連合会主催の「塚本タカセ氏によるゴスペル教室」が峰浜小学校で開催され、保護者、先生、子どもたち合わせて約50名が参加しました。各学校のPTAが合同で事業を行うのは3年ぶり。役員のみなさん頑張りましたね。塚本タカセ氏は能代市二ツ井出身のソウルシンガー。プロから教わるってめったにないことです。

「で、ゴスペルって何?」。実は、意味が分かっていなかったでインターネットで調べてみました。「私たちがゴスペルと呼んでいる音楽は、アメリカの黒人教会で歌われている歌です。誰か一人が歌い出せば、会場全体が総立ちになり、手を叩いたりステップを踏んだりしながら、声を張り上げて全身全霊で歌います。「賛美歌」と比べると、より生活に根ざした歌詞が多く、聖書をベースにした前向きなメッセージが人種や国境を越え多くの人の共感を生んでいます」とありました。かっこいいー!期待感でワクワクしながら見学していました。

最初はショシがっていた参加者も、塚本タカセ氏の魔法のような笑顔の指導により、最後は体でリズムをとりながら魂を揺さぶるように歌い上げるゴスペラーズに変身!(正直に言うと、女性と子どもたちは合格点。男性のみなさんはショシさが抜けて微妙に声が小さく…)

参加者の一人は、「ふだん、こうやってリズムをとり、笑顔で歌うことがなかったので楽しかった。気持ちもスッキリ、ヤグヤグした」とのこと。発表会ないのかな?

① 塚本タカセ氏
 ② ゴスペル練習の様子

はぴはぽ
 地域おこし協力隊の部屋 第46回

今シーズン初めての降雪も記録し、本格的な冬が訪れようとしています。協力隊の山内です。

冬をテーマにした「冬の訪れ」や「春の気配」といったような、季節の変わり目を表す言葉を使うことがよくあります。

そこで一つ思ったのが、日本には春夏秋冬の四季があるわけですが、それぞれの季節っていつからいつまでなのだろうということですね。

それぞれの季節には、象徴となる事柄やイベントがあります。例えば、春といえば山菜・新緑と桜、夏は祭りや海・山でのレジャー、秋は収穫と紅葉、冬は雪とウィンタースポーツの季節。このように列挙すると、季節とイメージがリンクするかと思います。

秋田へ移住する前、愛知県に住んでいた時のイメージでは、3月5月が春、6月8月が夏、9月11月が秋、12月2月が冬という感覚でした。

桜が咲くのは3月下旬から4月上旬、6月から本格的な暑さがやってくる、11月下旬から12月上旬にかけて紅葉がピークを迎え、スキー場がオープンするのは12月下旬といった具合でした。

それが秋田へ移住してからは、桜の開花は1か月後にずれているし、暑い夏真っ盛りな時期はとて短いし、紅葉も桜と同じく1か月ほどずれているし、11月には雪が降ってきて冬を実感するようになりまし。

そのため秋田では、4月6月が春、7月8月が夏、9月10月が秋、11月3月が冬といった感覚です。このように見てみると、2か月で終わってしまう夏の短さと、5か月間も続く冬の長さが際立ちます。

季節は感覚的なもので、その地方によって感じ方は違ってきます。いよいよ秋田の長い冬が始まりました。ただ過ぎすだけではなく、楽しみ方を開拓していきたいものです。

いよいよ長い冬がやってきます